



長崎県立佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www.news.ed.jp/sasebokita-h/>



第9号 令和3年3月23日発行

佐世保北高校卒業式

高校第3学年主任 福田 勝樹

令和3年3月1日、佐世保北高校の第73回卒業式が行われ、223名の卒業生が本校を卒業しました。感染防止のため中高の在校生が不参加となったのは、本当に残念なことでしたが、卒業式を無事に終えることができたのは、多くの方々に支えていただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

松瀬真未さんの卒業生代表答辞を聞きながら、3年がよみがえってきました。その答辞の中での言葉で、「何よりも今思い出すのは、たわいもない会話で笑いあった日常の日々です。」とあった瞬間、私の心の中で涙が溢れてきました。確かに、私自身も楽しく3年間を過ごせたのも、73回生との「たわいもない会話で笑いあった日々」だったように思います。

この3年間は新しい学力観、共通テストの導入など、新しいことをやらなければならないことが多く、大変なことばかりでした。さらに、最終学年では、集大成となる高総体の中止、無観客の体育祭、後夜祭の中止など様々な楽しみを奪われました。しかし、73回生は悔しい思いをもった中でさえ、普段と変わらないように「たわいもない会話で笑いあった日々」を過ごしたように思います。自分の心の中で消化し、乗り越えたことに“すごさ”を感じました。そのような我慢することが続いた中でも、体育祭での北辰フェスタの実施は大きく成長する機会であったように思いました。話し合いをまとめる力、自分の力のなさを痛感した歯がゆさなど普段の生活では感じることはできないことを経験し、その困難を仲間の力で乗り越え、充実感や達成感を味わったことと思います。

この3年間を見ていると、まるで、渡り鳥のV字飛行のようでした。群れの先頭は、リーダーだけが飛ぶわけではなく入れ替わり、後ろの鳥たちは、先頭を励まし、さらには脱落しそうな鳥を助けにも行きます。そうすることで、単独飛行より信じられないほど遠くに飛ぶことができます。そのような光景が私の中にうつりました。



これからも多くの困難に直面することがあると思いますが、この佐世保北で学んだことを活かして、逞しく乗り越えていくことを期待します。「万里一空～新たな波に乗って～」という73回生のスローガンのように、どんな荒波にも飲み込まれることなく、大きな波を乗り越え、これからの新しい時代を築き上げていってください。



佐世保北中学校卒業式

中学第3学年主任 吉本 大樹

令和3年3月16日、北中15回生は、無事卒業式を迎えることができました。今年は、新型コロナウイルスの影響で、北辰祭を保護者に見ていただけなかったり、修学旅行の行き先が県内になったり、変更・縮小が多い1年となりました。そんな中、今何ができるか考え行動する姿に、幾度も感動したことを思い出します。卒業式当日、この苦難をともに過ごした仲間たちと笑顔で式に臨む姿を見ることができ、幸せな気持ちでいっぱいです。保護者の皆様におかれましても、お子様の立派に成長した姿に感慨もひとしおのことだと思います。中学校の3年間、学校へのご支援やご協力、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



3年前の春、大きめの制服を着て入学式に臨んだ15回生は、学校生活を通して、様々な経験を積み、今では見違えるほど頼もしくなりました。特に、今年の体育祭のフェスタでは、大きな変更があったにも関わらず、一からすべて生徒たち中心に創り上げたことが印象的で、子ども達の成長を感じるとともに、計り知れない可能性を感じました。一つ一つの行事に全力で取り組んできたからこそ、15回生は強い絆で結ばれたのだと思います。

15回生はこの春、76回生として北高に入学します。これからもこの大切な仲間との出会いに感謝し協力し合いながらも、それぞれの個性を存分に伸ばして、大きくはばたいってほしいと思います。これからも今までと変わらぬご支援やご協力を、どうぞよろしくをお願いします。

中学校卒業論文発表会

中学第3学年 総学担当 吉本 大樹

令和3年2月16日、5・6時間目に、中学3年生の総合的な学習の時間で取り組んだ卒業論文の発表会が行われました。4月末に計画を立て、12月に論文完成、1月にプレゼンテーションを完成させて学級で発表会を行い、各学級から代表者3名（計9名）が選出され、発表を行いました。

テーマの設定に苦労したり、何度も実験を失敗したり、発表の仕方やパワーポイント作りに工夫を凝らしたりなど、様々な作業を通して自分を見つめ直す良い機会となったようです。各クラスでの発表はどれも個性豊かで、一人一人が興味を持ったことを一生懸命追究する、若い感性にあふれたすばらしいものばかりでした。特に代表に選ばれた9名の発表は、内容も大人の私たちでも感心するような、丁寧に調べられたレベルの高いもので、15回生の底力を感じました。



今回の取組を通して学んだ、興味を持ったことを納得するまで徹底的に調べようとする姿勢を、これからも持ち続けてほしいと思います。高校進学後の「総合的な探求の時間」でも、さらに深く、高度な研究成果を発表できることを期待しています。寒い中、参観してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。中学3年生には、論文の論旨を全員分集めた論旨集も配付しています。そちらもぜひご覧下さい。

英語スピーチ・暗誦コンテスト

中学英語科主任 原田 志保

令和3年3月3日、英語スピーチ・暗誦コンテストが開催されました。昨年度は新型コロナの影響で中止になりましたが、今年は開催することができました。このコンテストは、中学1年は暗誦、中学2年がスピーチで日々磨き上げた英語力を披露する場となっています。クラスでの予選を勝ち抜いた各クラス2名のファイナリストがコンテストに出場しました。中学3年生はモデルスピーチとエキシビション漫才に参加しました。



どのファイナリストも、ジェスチャーに工夫を凝らし、生き活きと暗誦やスピーチ、漫才を披露し、このコンテストを通じ多くの生徒が自信をつけたと思います。本年度はコロナ禍で多くの外部コンテストが中止になりましたが、来年度は新型コロナが収束してコンテストが予定通り実施されるよう願うとともに、このようなコンテストにどんどんチャレンジして活躍してほしいと思います。

中学校クラスマッチ

中学生徒会主任 石井 晶子

令和3年3月5日、中学校は各学年に分かれてクラスマッチを行いました。それぞれの学年でそれぞれの思いのもと、熱戦が繰り広げられました。以下はクラスマッチ全体を取り仕切ってくれた生徒の感想を一部抜粋したものです。生徒がどのような思いで取り組んでいたのか、よくわかる文章となっておりますので、ご紹介いたします。



『入念な計画を立てて、当日は感染症対策を講じながらよいものにすることができました。特に3年生は、中学校生活最後の行事として、体育部で“BGMの編集”や“ビデオの作成”といった新たな工夫を放送部や有志と協力して行いました。クラスマッチを終えて、「今までで1番楽しかった」などの感想もありました。今回はどの学年もみんなが満足でき、またクラスの絆を再確認できた、最後の行事にふさわしいクラスマッチになったと思います。』

旅立ちに花を添えて

高校生徒会主任 鬼塚 登茂美

北高では、毎年、卒業式の日在校生によって教室の飾り付けが行われています。今年度も2年生の有志が教室を華やかしてくれました。さらに今年度は、卒業式に出席できない在校生の思いを届けたいということで、生徒会執行部が手作りの花で花束を作り、感謝とお祝いのメッセージを添えて各教室に飾りました。卒業生も在校生の祝福の気持ちを感じてくれたことと思います。



挨拶運動

高校生徒会主任 鬼塚 登茂美

令和3年3月の第1週に、高校1年生の学級委員が校門で挨拶運動を行いました。今回の運動は、1年生の学級委員会で、みんなが気持ちよく挨拶をする雰囲気をつくるために自分たちができることはないかと話し合い実施されました。生徒自身から学校をよりよくしようという取り組みがでてきたことを頼もしく思います。



高校73回生 合格者講話

高校進路指導主任 竹下 敦

令和3年3月18日7校時に、高校1・2年生を対象に「合格者講話」を実施しました。

令和3年度入試で合格した73回生の先輩方は、受験を体験して感じたことや、高校3年間を振り返って考えることなどを話してくれました。教科の学習法や受験に対する心構えを始めとして、合格の喜びや達成感、高校生活の充実感だけでなく、受験勉強のつらさや受験の厳しさも踏まえ、後輩のために真剣にアドバイスを送ってくれたと思います。



高校2年生はもうすぐ受験生としての生活がスタートします。高校1年生も約1年後には受験生になります。先輩方のアドバイスを噛みしめて、まずはこの春を充実させましょう。

輝け 北辰のごとく

生徒の活躍の主なものを紹介します！

<中学校>

- 第66回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」

立体部門
絵画部門
デザイン部門

教育委員会賞
特選
特選

石田 詠都
中村 香里
中村 香里

<高校>

- 第9回日中韓高校生フォトコンテスト
- 第20回日本情報オリンピック
- 第28回九州地区高等学校科学クラブ研究発表会

化学部門
生物部門

日本写真家協会賞
敢闘賞
最優秀賞
優秀賞

古賀 いろは
山縣 浩隆
科学部
科学部